

摺上川ダム湖面利用協議会 設立趣意書

摺上川ダムは、福島市の中心街から約20kmに位置し、ダム完成に向け現在試験湛水を実施しており、平成18年4月には、本格的な管理・運用へ移行する予定です。

近年、ライフスタイルや価値観の多様化により、学習、文化、健康・スポーツに対する関心、とりわけ大自然に対する関心は、これまで以上に大きくなってきています。

こうしたなかで、新たに誕生するダム湖「茂庭っ湖」は、恵まれた自然環境と融合し、多くの人々を引きつける魅力ある湖となることが予想され、これを契機とした地域振興と活性化への期待は大きいものとなっています。

ダム周辺地域の活性化について議論するため平成15年度から開催しました「摺上川ダム周辺地域活性化懇談会」では、福島市とその周辺11町に水道用水を供給する水源地であること、優れた自然環境が残されていることなどから、全く利用させない考えと、水質と自然環境を損なわない程度に利用を図る考えと二通りの意見が出されていますが、ダム湖利用に関しては、規制が必要との意見で一致しています。

しかし、「茂庭っ湖」は新しい湖のため既存利用者が無く、湖面利用に関しては全く白紙の状態からスタートします。河川法をはじめとする各種法令、規制等では、「自己責任による自由使用」が基本となります。

そこで、地域からの地域振興と活性化への期待につながる湖面利用に関して、国、県、市、利水者、民間等との協力と連携により、湖面利用と規制の計画立案を目的とした組織として「湖面利用協議会」を設立するものです。